

様式第2号（第3条、第6条、第7条及び第8条関係）

事業計画書（実績書）

令和7年11月28日

団体名 綾部を未来につなぐプロジェクト「まゆまゆの会」

事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）	グンゼ創業者・波多野鶴吉と妻はなの物語を朗読劇として上演することで、綾部市民に郷土愛を持ってもらうことが目的。また、この朗読劇上演をきっかけに市内外に綾部市の文化・歴史を伝えることができ、市制施行75周年記念の節目を祝う機運醸成に寄与すると考えられる。
事業の名称	朗読劇「綾の糸燃る」
事業費 （市補助金）	1,514,409円 （200,000円）
補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）	講師宿泊費、衣装代、会場使用料、チラシ等印刷費、事務費等
事業実施期日	令和7年8月3日（日）～11月2日（日）
事業実施場所	I・Tビル2階多目的ホール
事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）	綾部にグンゼ創業者・波多野鶴吉がいたことを広めるために、波多野鶴吉と妻はなの物語を、現代を生きる少女の視点も交えた朗読劇として上演した。劇作家・役者の小栗一紅氏を講師として招き、市民とともに一から朗読劇を作り上げ、上演した。小栗氏は何度も綾部を訪れ、参加メンバーらしいセリフや綾部らしい言い回しなどを台本に取り入れつつ作り上げた。練習には近隣市町村在住の約20名とプロの役者8名が参加し、合計17回行った。 ・日時：11月2日（日）11時～／14時～ ・場所：I・Tビル ・料金：一般1,000円／小学生以下500円 （クラウドファンディングの支援により、高校生以下無料） 【観劇人数：午前179人、午後171人】
補助金の効果（成果） （計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。）	綾部市が「グンゼ発祥の地」であることを広めることができた。参加者や講師の知人が多く参加し、綾部市内外の方に綾部のことを知ってもらうことができた。また、参加者にも郷土愛が生まれた。さらに、プロと共に活動したことで文化に対する意識が高まり、今後も継続して活動したいという意見が出た。市民一丸となって綾部市の市制施行75周年を祝い、地域の活性化の一助となった。

様式第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支予算書（計算書）

令和7年11月28日

団体名 綾部を未来につなぐプロジェクト「まゆまゆの会」

（単位 円）

収 入 の 部	区 分	予算額	実績額	明 細
	市補助金	200,000	200,000	
	観劇料	350,000	366,500	1,000円×365人＋ 500円×3人
	クラウドファンディング	370,820	463,410	
	参加料	82,500	93,000	朗読劇参加者より 500円ずつ
	寄附	300,000	391,499	篤志者・カンパ等
	合 計	1,303,320	1,514,409	
支 出 の 部	区 分	予算額	実績額	明 細
	旅費	489,540	0	
	宿泊費	100,800	162,800	10名が2～4泊
	謝金	347,000	0	
	制作費	70,000	27,485	クリーニング・小 道具等
	稽古場代	56,160	95,105	I・Tビル2階多目的 ホール
	会場費	104,820	37,460	I・Tビル2階多目的 ホール
	事務費	35,000	53,784	チラシ・チケット 製作、パンフ印刷
	予備費	0	0	
	対象外経費	100,000	1,137,775	スタッフ弁当、旅 費、謝金、各種手 数料等（領収書無 分等）
	合 計	1,303,320	1,514,409	（うち対象経費376,634）
差 引		0	0	